

（12）観光施設

1）施設概要

① 施設一覧

本市の観光施設は、白浜キャンプ場や御橋観音ビジターセンター等の「キャンプ場等宿泊・公園系」7施設、九十九島動植物園等の「動植物園・資料館系」4施設、宇久シーパークホテル等の「宿泊系」2施設及び観光情報センターの「観光案内系」1施設の延14施設と様々な種類を保有しています。

図表 設置目的

施設名称	設置目的
1 白浜キャンプ場	市民の心身の健全な発育とレクリエーションの増進を図るため
2 御橋観音ビジターセンター	牧の岳公園を広く一般の利用に供し、地域の文化と伝統を継承するため
3 白岳自然公園センター	自然に恵まれた高原の中でのレクリエーション活動により、市民の健康増進に資するため
4 長串山公園ビジターセンター	自然に親しむこと及び観光の振興を目的とした公園利用者のための休憩施設
5 烏帽子岳高原リゾートスポーツの里	スポーツ及びレクリエーションを通じて、市民の健全な心身の育成と健康増進を図る
6 交通公園センター	いこいと楽しみのうちに交通知識や交通道徳を身につけること
7 ふるさと物産館	本市における農業の振興及び地元産品にふれあうため
8 九十九島動植物園森きらら	動植物を通じた自然環境保護等に関する意識の高揚を図り、市民の保健・休養に資するとともに、本市観光の振興に寄与するため
9 九十九島水族館海きらら	西海国立公園九十九島の利用拠点として、西海パールリゾート及び九十九島観光のさらなる活性化を目指す
10 させぼ物産みかわち振興センター	本市物産品の認知度向上並びに三川内地区の活性化
11 三川内焼伝統産業会館	三川内焼の伝統的技法の継承、後継者の確保及び育成、もって窯業三川内焼の振興を期し、かつ本市文化向上に寄与する
12 宇久シーパークホテル	本市における観光振興を図る
13 山暖簾	本市における観光の振興と交流人口の拡大を推進する
14 観光情報センター	観光情報案内

図表 施設一覧

分類	施設名称	住所	建築年度 (年度)	延床面積 (㎡)	保有機能								その他	
					公園	休憩所	動植物園	物産館	体験	資料館	宿泊	観光案内		
キャンプ場等宿泊	1 白浜キャンプ場	俵ヶ浦町3248番地	昭和59	66.00	●	●								
	2 御橋観音ビジターセンター	吉井町前岳161番地1	平成8	181.35	●	●								
	3 白岳自然公園センター	江迎町奥川内253番地6	平成元	567.25	●	●								
	4 長串山公園ビジターセンター	鹿町町長串174番地12	平成3	400.03	●	●								
	5 烏帽子岳高原リゾートスポーツの里	烏帽子町128番地	平成5	768.80	●	●								
	6 交通公園センター	祇園町221番地	昭和47	676.92	●	●								
	7 ふるさと物産館	小佐々町矢岳1618番地12	平成2	151.11	●	●		●						
動植物園・資料館系	8 九十九島動植物園森きらら	船越町2172番地	昭和36	5,155.21			●							
	9 九十九島水族館海きらら	鹿子前町1008番地	平成6	7,296.83			●							
	10 させぼ物産みかわち振興センター	三川内本町289番地1	昭和45	443.20				●						
宿泊系	11 三川内焼伝統産業会館	三川内本町343番地	昭和57	1,649.48					●	●				
	12 宇久シーパークホテル	宇久町平14番地	平成12	1,597.54							●			
観光案内系	13 山暖簾	世知原町上野原316番地	平成16	3,658.94							●			
	14 観光情報センター	三浦町21番1号	平成13	207.00								●		
合計			—	22,819.66	7施設	7施設	2施設	2施設	1施設	1施設	2施設	1施設		

② 運営時間・運営日数

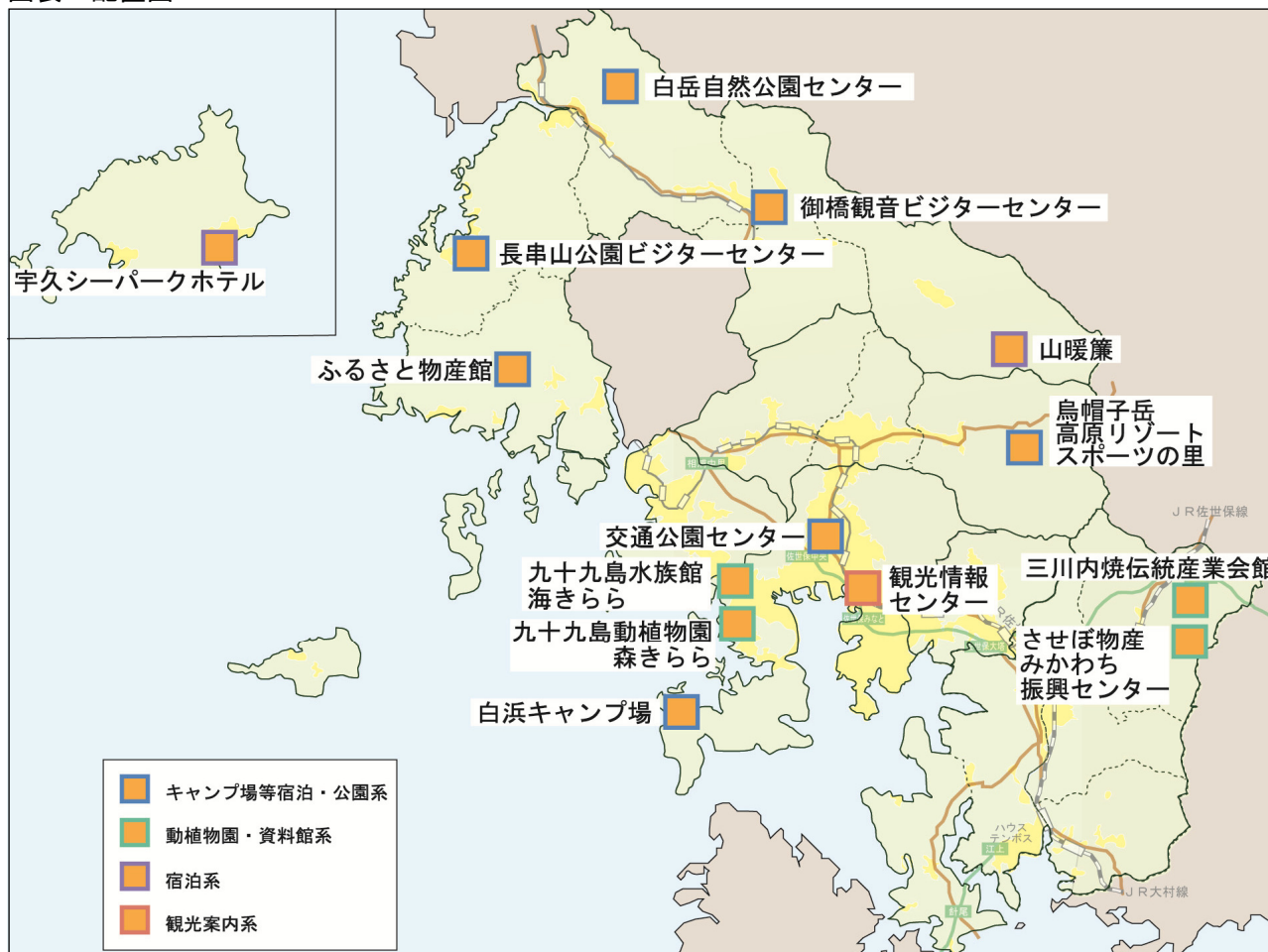
図表 運営時間及び運営日数

分類	施設名称	運営時間	休館日	運営日数 (平成22年度)	使用料金
キャンプ場等宿泊 公園系	1 白浜キャンプ場	終日	11月1日から4月9日まで	205日	有料
	2 御橋観音ビジターセンター	午前10時30分～午後8時	毎週木曜日、年末年始	312日	無料
	3 白岳自然公園センター	午前9時～午後10時	毎週火曜日、年末年始	312日	無料
	4 長串山公園ビジターセンター	4月～9月:午前8時～午後6時 10月～3月:午前9時～午後5時	毎週木曜日、年末年始	312日	無料
	5 烏帽子岳高原リゾートスポーツの里	4月～9月:午前9時～午後6時 10月～3月:午前9時～午後5時		312日	有料
	6 交通公園センター	午前9時～午後4時30分	毎週月曜日、年末年始	294日	無料
	7 ふるさと物産館	午前8時～午後5時	年末年始	361日	有料
動植物園・資料館系	8 九十九島動植物園森きらら	午前9時～午後5時15分	年末年始	361日	有料
	9 九十九島水族館海きらら	午前9時～午後6時(11月～2月は午後5時まで)	なし	365日	有料
	10 させぼ物産みかわち振興センター	午前9時～午後6時	年末年始	360日	無料
	11 三川内焼伝統産業会館	午前9時～午後5時	年末年始	359日	無料
宿泊系	12 宇久シーパークホテル	チェックイン:午後2時 チェックアウト:午前10時	なし	365日	有料
	13 山暖簾	チェックイン:午後3時 チェックアウト:午前10時	なし (メンテナンスのための休館有)	359日	有料
観光案内系	14 観光情報センター	午前9時～午後6時	なし	365日	無料

③ 配置状況

市全域に様々な観光施設を配置しています。

図表 配置図



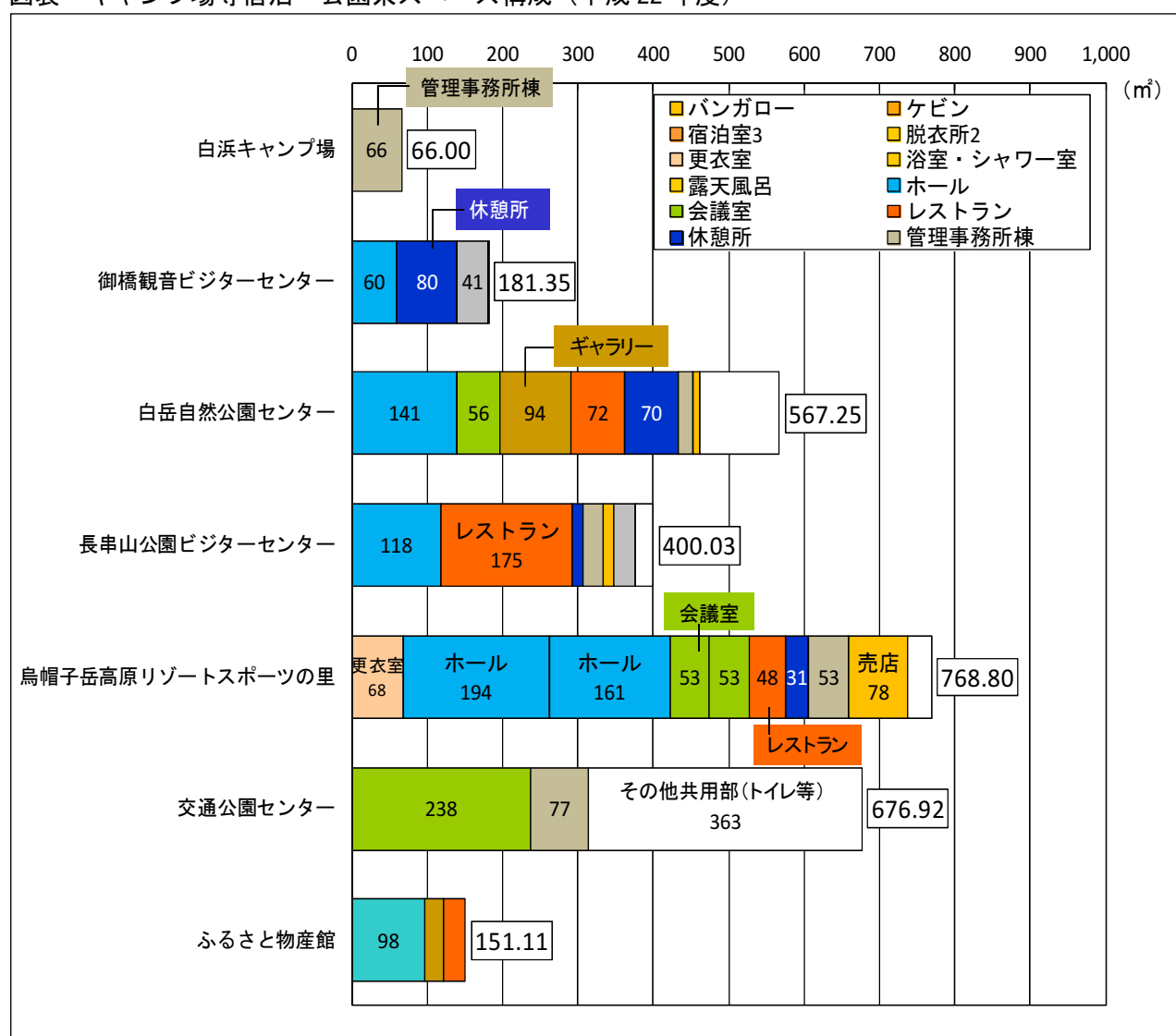
④ スペース構成

【キャンプ場等宿泊・公園系施設】

キャンプ場等宿泊・公園系施設のスペース構成をみると、白浜キャンプ場内の建物は管理施設だけとなっています。白浜キャンプ場を除く6施設では、最も小さい施設がふるさと物産館で151㎡、最も大きい施設が烏帽子岳高原リゾートスポーツの里が769㎡となっており、建物自体は、小規模な施設となっています。

保有しているスペースをみると、休憩等のためのホールや休憩所、レストラン及び会議室等を中心とした施設です。

図表 キャンプ場等宿泊・公園系スペース構成（平成22年度）



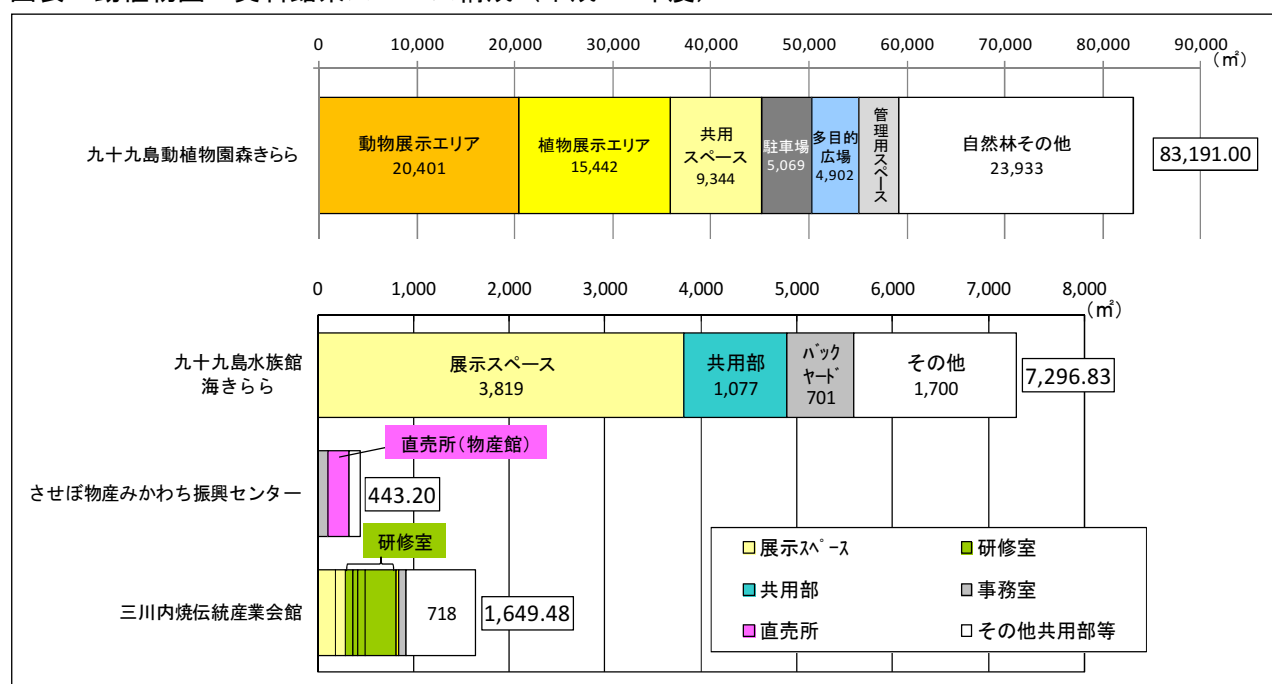
【動植物園・資料館系施設】

動植物園・資料館系施設のスペース構成をみると、九十九島動植物園森きらは、園の敷地が延8万3,191㎡です。内訳をみると、動物や植物の展示エリアが約半分程度となっており、その他に駐車場、多目的広場及び自然林その他等があります。

九十九島水族館海きらは、建物が延7,297㎡あり、そのうち、展示スペース等及び共用部が4,896㎡と過半を占めています。その他にバックヤード等があります。

させぼ物産みかわち振興センターは、物産館（させぼ四季彩館）が中心となっています。三川内焼伝統産業会館は、展示スペース（三川内焼美術館）及び研修室が中心となっています。

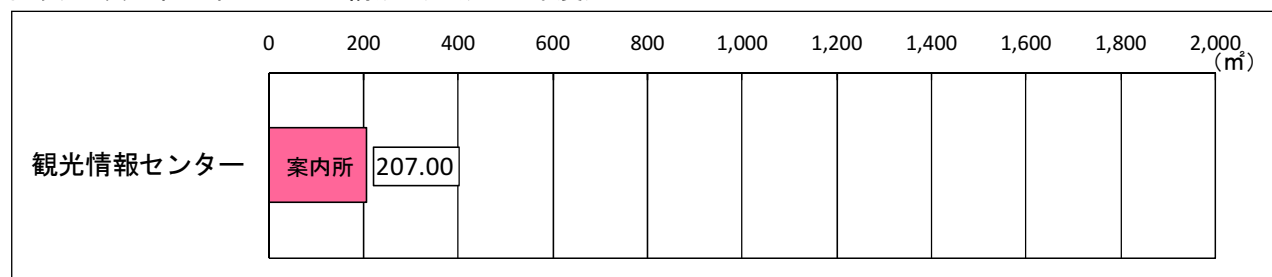
図表 動植物園・資料館系スペース構成（平成22年度）



【観光案内系施設】

観光情報センターのスペース構成は、案内所スペースのみで207㎡となっています。

図表 観光案内系スペース構成（平成22年度）



※宿泊系施設が保有するスペースは、客室、浴場、ロビー、会議室等となっており、ある程度決まったスペース構成となっているため、図表としては、掲載していません。

2) 実態把握

① 建物状況

■ 観光施設の建物総合評価

平成22年度の観光施設14施設の建物状況について評価を行いました。

図表 建物状況（平成22年度）

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応						④環境対応			⑤維持管理				
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費(千円)		床面積当たり(円/㎡)		
1	白浜キャンプ場	昭和59	66	—	26	—	26	—	○	○	×	○	×	×	×	35	0	0	観光施設では、キャンプ場、ビジターセンター、動植物園及び植物園等、様々な機能があり、維持管理費を一律で比較できないため、維持管理費の評価は行っていません。		
2	御橋観音ビジターセンター	平成8	181	—	14	—	14	—	○	○	×	×	×	×	×	200	600	0			
3	白岳自然公園センター	平成元	567	—	21	平成22	0	—	○	×	×	×	×	×	×	1,245	479	0			
4	長串山公園ビジターセンター	平成3	400	—	19	—	19	—	○	×	×	×	×	×	×	1,631	4,211	83			
5	烏帽子岳高原リゾートスポーツの里	平成5	769	—	17	—	17	—	○	○	×	○	×	×	×	2,179	305	2,065			
6	交通公園センター	昭和47	677	—	38	—	38	—	○	○	×	×	○	×	×	194	12,374	0			
7	ふるさと物産館	平成2	151	—	20	—	20	—	×	×	×	×	×	×	×	473	58	126			
8	九十九島動植物園森きらら	昭和36	5,155	—	49	—	49	—	○	○	×	○	○	×	○	7,216	32,096	3,798			
9	九十九島水族館海きらら	平成6	7,297	—	16	—	16	○	○	○	○	○	×	×	×	45,276	26,601	8,379			
10	させぼ物産みかわち振興センター	昭和45	443	×	40	—	40	—	○	—	○	—	×	×	×	0	0	121			
11	三川内焼伝統産業会館	昭和57	1,649	—	28	平成7	15	×	○	○	○	×	○	×	×	4,644	2,350	36			
12	宇久シーパークホテル	平成12	1,598	—	10	—	10	×	×	×	○	×	×	×	×	4,770	1,329	117			
13	山暖簾	平成16	3,659	—	6	—	6	○	○	○	○	○	×	×	×	39,272	8,095	1,700			
14	観光情報センター	平成13	207	—	9	—	9	—	×	×	○	×	○	×	×	0	8,969	0			
合計・平均			22,820													107,134	97,467	16,424	—	—	—

①、③、④の記載例
 実施済み⇒ ○
 未実施⇒ ×
 不要⇒ —
 ※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器・高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備等

※観光施設では、キャンプ場、ビジターセンター、動植物園及び植物園等、様々な機能があり、維持管理費を一律で比較できないため、維持管理費の評価は行っていません。

させぼ物産みかわち振興センターは、耐震安全性が確保されていません。また、築30年以上を経過していることから、耐震性の確保とともに、計画的な補修による老朽化対策が必要となっています。【パターン①】

交通公園センターは、耐震化は不要ですが、築30年以上を経過し、これまで大規模改修等の老朽化対策を行っておらず、老朽化が進行しています。また、九十九島動植物園森きらは、新しい建物もありますが、施設全体として、老朽化が進行しています。今後、大規模改修等の老朽化対策が必要です。【パターン②】

白浜キャンプ場の管理棟及びふるさと物産館は、築20年以上を経過しており、今後老朽化対策が必要な時期となります。今後、計画的な老朽化対策を検討する必要があります。【パターン③】

その他9施設は、比較的新しい施設又は大規模改修を実施した施設ですが、バリアフリー化や環境対応が完了していないため、今後の計画的な改修等での対応が望まれます。【パターン④】

図表 建物総合評価結果

	パターン① 耐震性 老朽化	パターン② 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p> <p>優先1 ①耐震安全性 振分基準: ①=1の施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>優先2 ②老朽化状況 振分基準: パターン1以外で②=1の施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>優先3 ②老朽化状況 振分基準: パターン1以外で②=2の施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> <p>優先4 ④環境対応状況 振分基準: パターン1~3以外で④又は④が1~2の施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度 させぼ物産みかわち振興センター 昭和45</p> <p>< 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 交通公園センター 昭和47 九十九島動植物園森きらら 昭和36</p> <p>< 2 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 白浜キャンプ場 昭和59 ふるさと物産館 平成2</p> <p>< 2 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 御橋観音ビジターセンター 平成8 白岳自然公園センター 平成1 長串山公園ビジターセンター 平成3 烏帽子岳高原 リゾートスポーツの里 平成5 九十九島水族館海きらら 平成6 三川内焼伝統産業会館 昭和57 宇久シーパークホテル 平成12 山暖簾 平成16 観光情報センター 平成13</p> <p>< 9 施設 ></p>
コメント	<p>・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・いずれも耐震化が不要ですが、築38年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの対応が必要です。</p>	<p>・いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>

② 利用状況

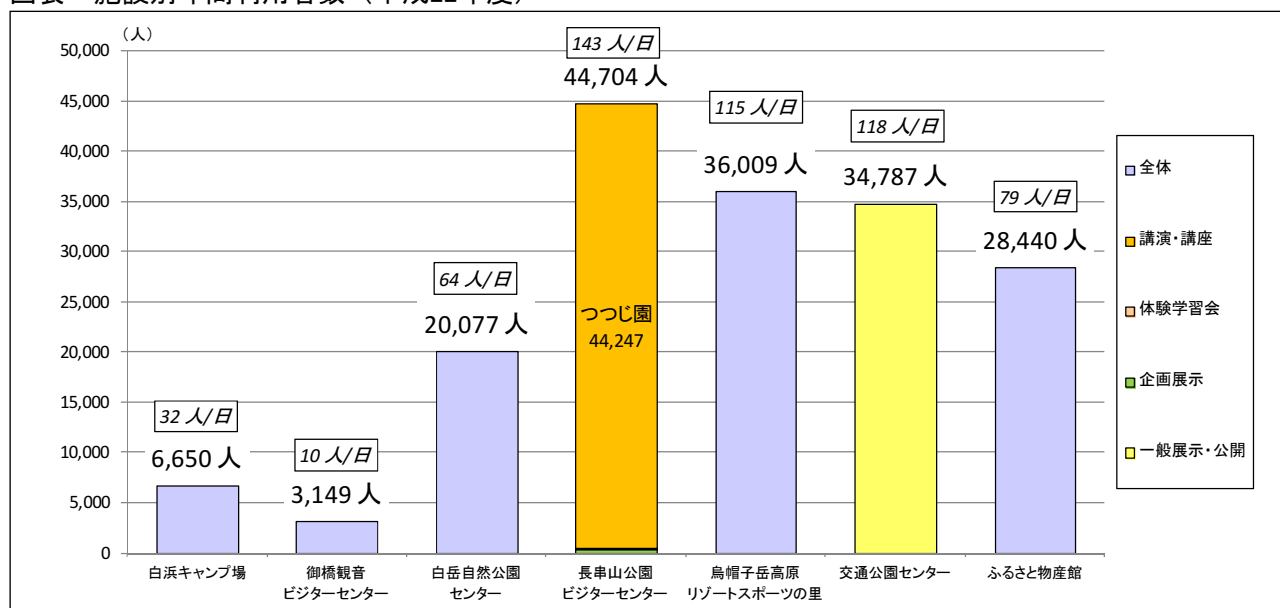
■ キャンプ場等宿泊・公園系施設利用状況

施設別の年間利用者数をみると、御橋観音ビジターセンターが最も少なく3,149人（運営1日当たり約10人）です。長串山公園ビジターセンターが最も多く4万4,704人（運営1日当たり約143人）となっています。

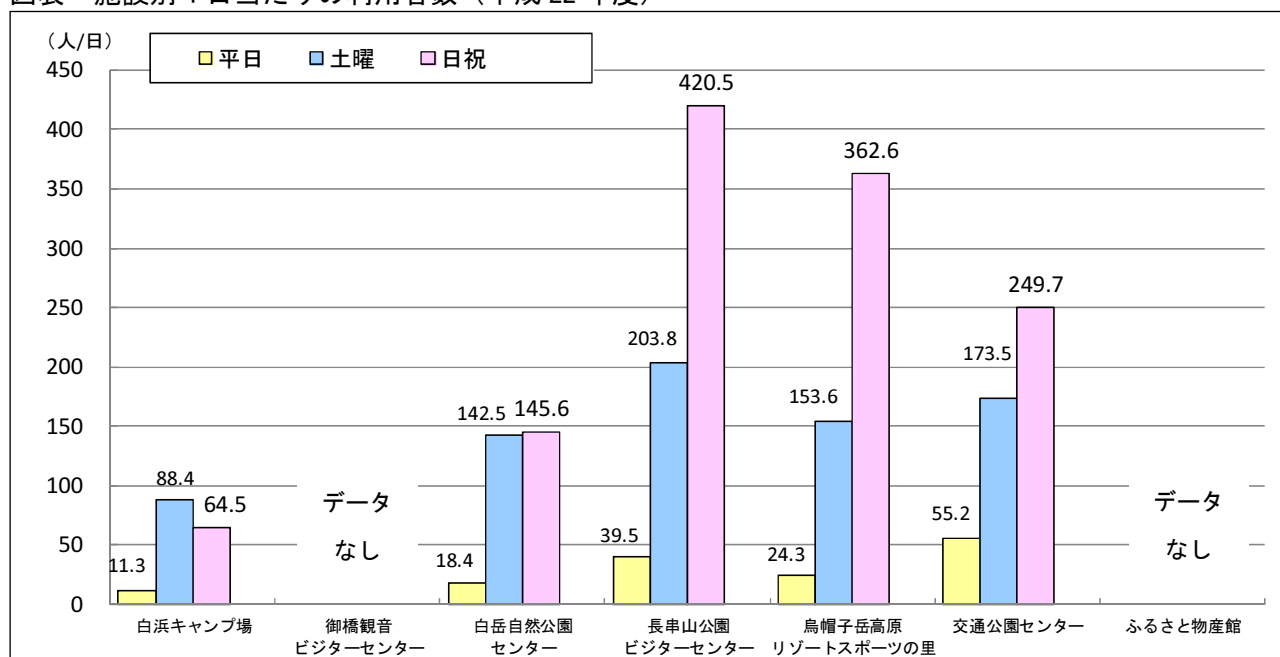
長串山公園ビジターセンターの利用目的の内訳をみると、施設で行われているつつじ園への利用者が4万4,247人と全体の約99%を占めています。

平日、土曜及び日曜・祝日ごとの運営1日当たりの利用者数をみると、どの施設も平日の利用者数に比べ、土曜及び日曜日の利用者数が多くなっています。

図表 施設別年間利用者数（平成22年度）



図表 施設別1日当たりの利用者数（平成22年度）



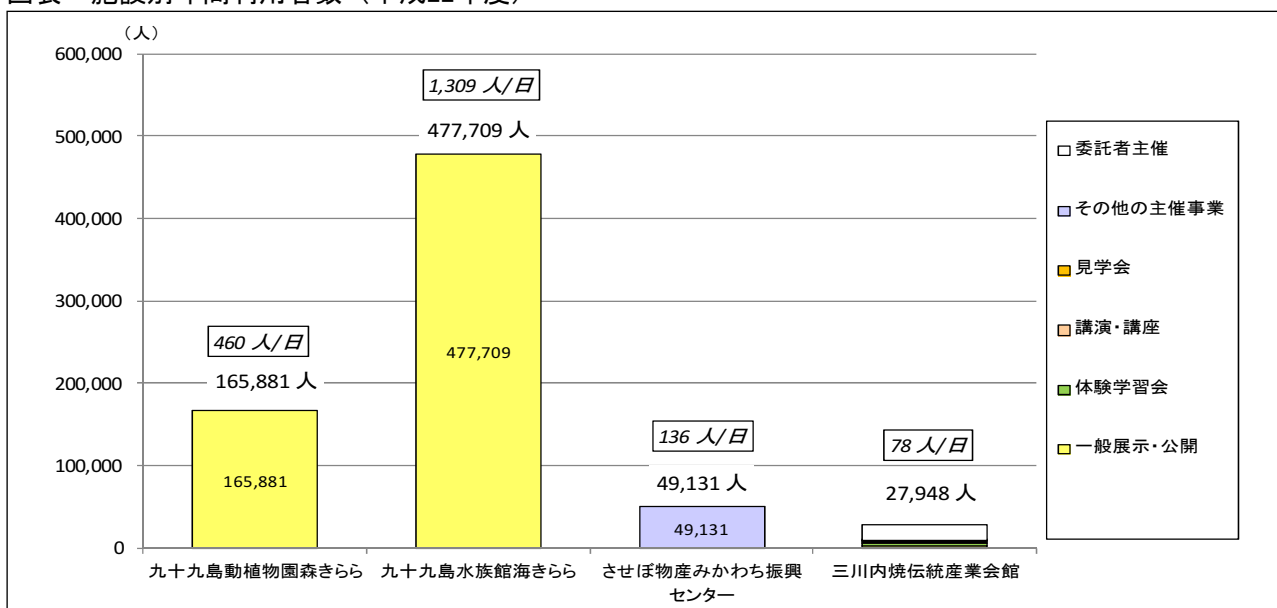
■ 動植物園・資料館系施設利用状況

施設別の年間利用者数をみると、三川内焼伝統産業会館が最も少なく2万7,948人（運営1日当たり約78人）です。九十九島水族館海きららが最も多く47万7,709人（運営1日当たり約1,309人）となっています。

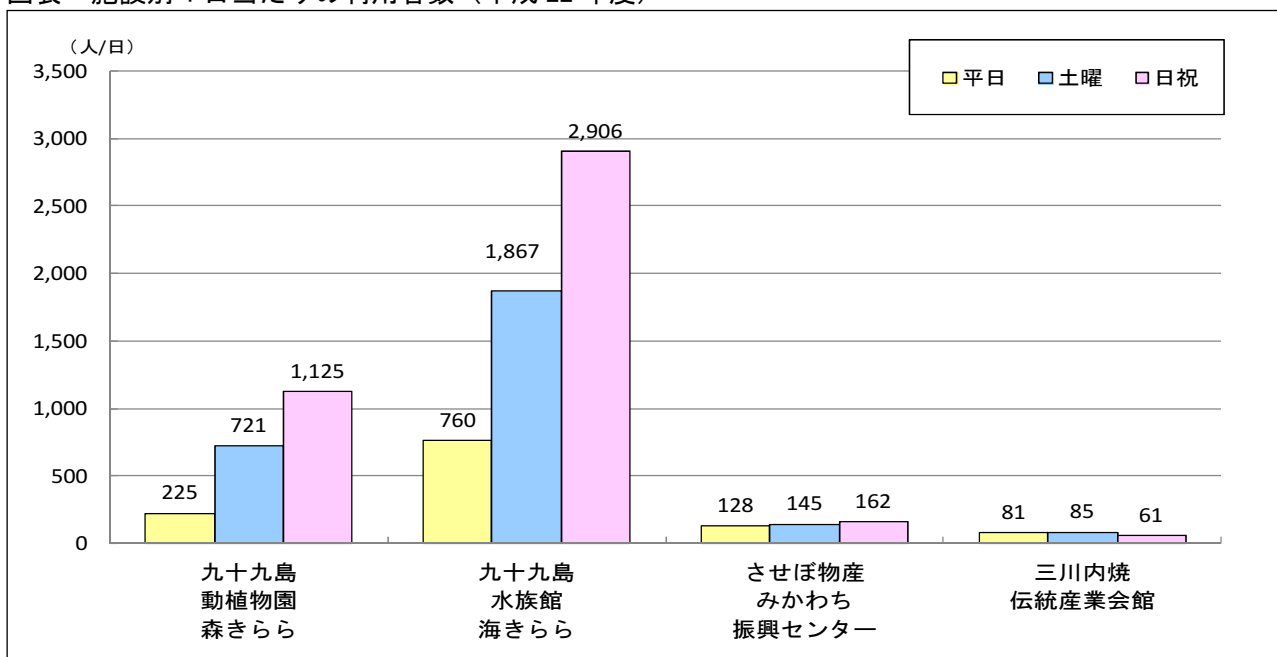
利用目的の内訳をみると、九十九島動植物園森きらら及び九十九島水族館海きららは、一般展示・公開への来場者となっています。

平日、土曜及び日曜・祝日ごとの運営1日当たりの利用者数をみると、九十九島動植物園森きらら及び九十九島水族館海きららは、平日の利用者数に比べ、土曜及び日曜日の利用者数が多くなっています。一方、させぼ物産みかわち振興センター及び三川内焼伝統産業会館は、曜日によつての差はほとんどありません。

図表 施設別年間利用者数（平成22年度）



図表 施設別1日当たりの利用者数（平成22年度）



■ 宿泊施設系施設利用状況

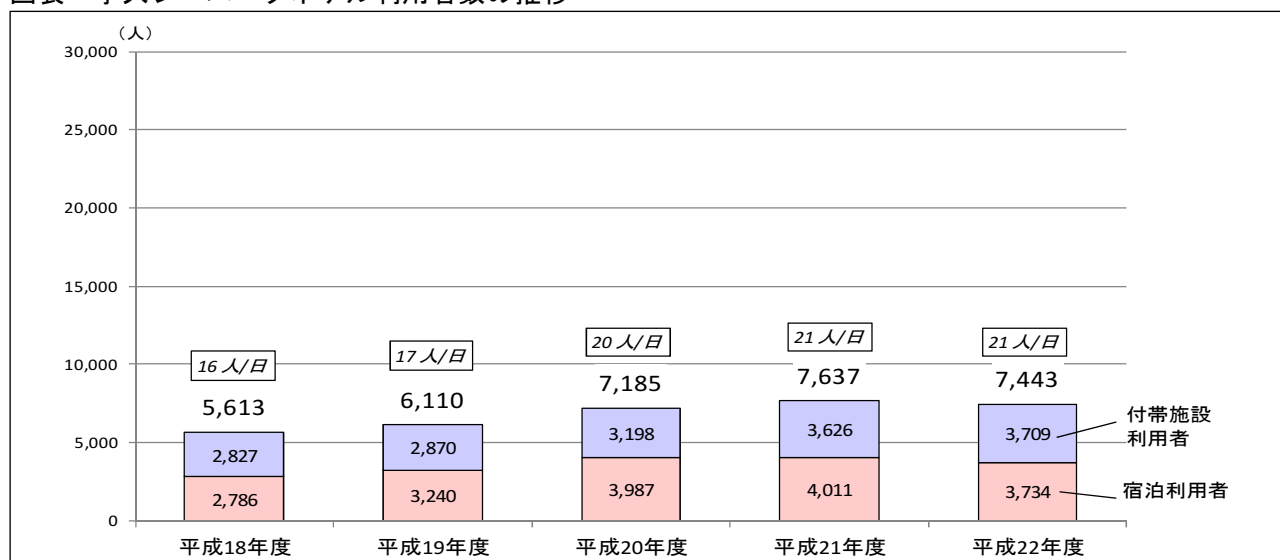
施設別の年間利用者数をみると、宇久シーパークホテルの年間利用者数は、平成22年度7,443人（運営1日当たり約20人）です。利用者の内訳をみると、宿泊利用者が3,734人と全体の約50%で、日帰り宴会等の付帯施設の利用者が、3,709人となっています。

平成18年度からの利用者数の推移をみると、平成18年度5,613人から増加傾向にありますが、平成22年度は前年度に比べ若干減少しています。

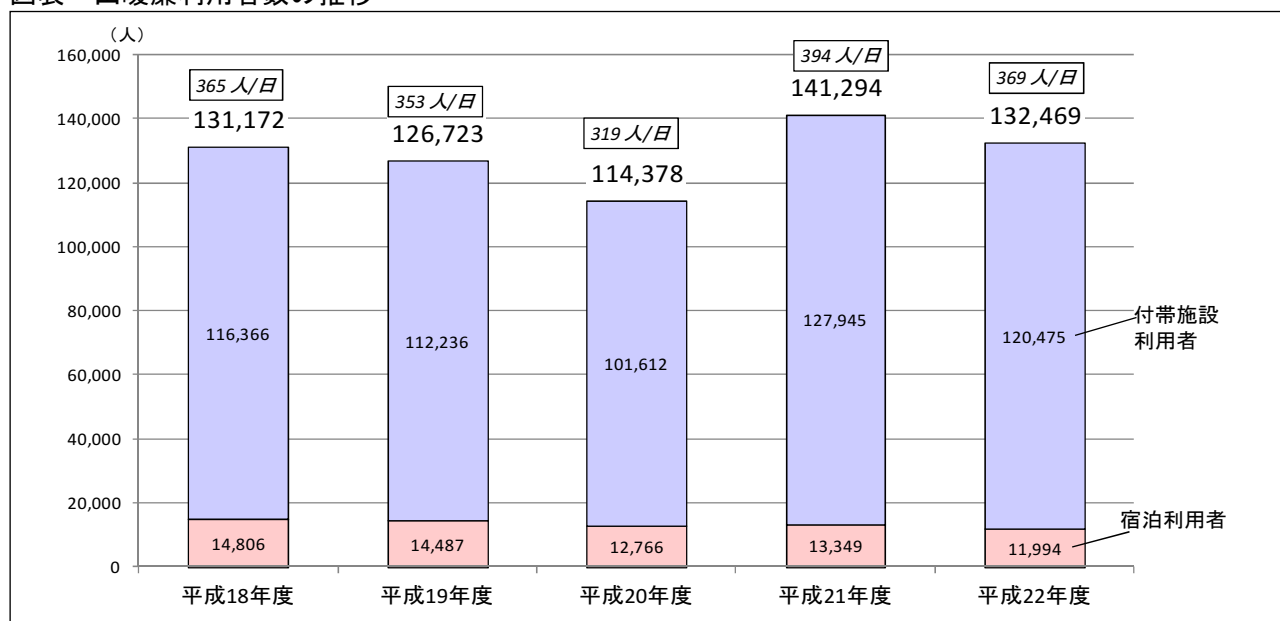
山暖簾の年間利用者数は、平成22年度13万2,469人（運営1日当たり約369人）です。利用者の内訳をみると、宿泊利用者が1万1,994人と全体の約9%程度です。全体の90%以上は、日帰り温泉等の付帯施設の利用者となっています。山暖簾には、宿泊者や市民等が会議・研修会等に利用できる「ふれあいの館」を付属施設として設置しています。

平成18年度からの利用者数の推移をみると、平成18年度から平成20年度まで減少傾向でしたが、付帯施設等の利用者数の増加により平成21年度は平成20年度と比較し、大きく増加しています。

図表 宇久シーパークホテル利用者数の推移



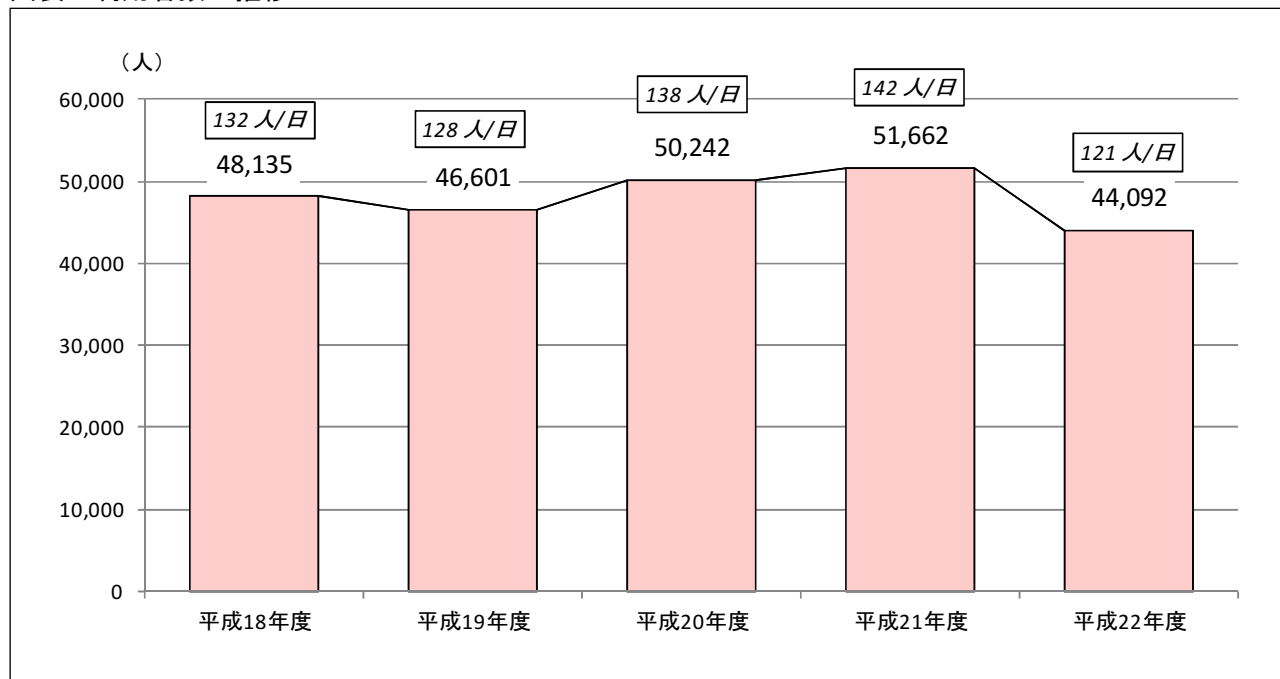
図表 山暖簾利用者数の推移



■ 観光案内系施設利用状況

観光情報センターの年間利用者数は、平成22年度4万4,092人（運営1日当たり約121人）です。平成18年度からの利用者数の推移をみると、平成19年度4万6,601人から平成21年度5万1,662人まで微増傾向となっていますが、平成22年度は平成21年度に比べ大きく減少しています。

図表 利用者数の推移



③ 運営状況

■ 運営人員

観光施設のうち、御橋観音ビジターセンター等9施設は、指定管理者制度を導入して運営しています。九十九島動植物園森きらら及びさせぼ物産みかわち振興センターは、市直営で運営しています。ただし、させぼ物産みかわち振興センターの通常の管理については、併設している三川内支所及び三川内地区公民館の職員が行っていることから、常駐している専任職員はいません。

白浜キャンプ場、交通公園センター及び観光情報センターの3施設は、業務を委託して運営しています。

各施設の運営人員をみると、山暖簾が45人、九十九島水族館海きららが40人となっています。また、市直営施設のうち、九十九島動植物園森きららは33人となっています。

他の施設は、ふるさと物産館の0.06人から長串山公園ビジターセンターの9人となっています。

図表 運営人員（平成22年度） (人)

		白浜キャンプ場	御橋観音ビジターセンター	白岳自然公園センター	長串山公園ビジターセンター	烏帽子岳高原リゾートスポーツの里	交通公園センター	ふるさと物産館	九十九島動植物園森きらら	九十九島水族館海きらら	させぼ物産みかわち振興センター	三川内焼伝統産業会館	宇久シーパークホテル	山暖簾	観光情報センター	合計
運営形態		委託	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	委託	指定管理	直営	指定管理	直営	指定管理	指定管理	指定管理	委託	
施設維持管理等	直営															
	一般職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
	嘱託職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
	委託職員	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	計	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	12.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	15.00
施設利用に関する受付・案内	直営															
	一般職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	再任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	嘱託職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	16.0
	委託職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	3.0	7.0
	計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00	0.00	21.00	0.00		0.00	0.00	0.00	3.00	28.00
指定管理者職員		0.00	2.00	4.00	9.00	6.00	0.00	0.06	0.00	40.00		2.00	7.00	45.00	0.00	115.06
合計	直営															
	一般職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	9.0
	再任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	嘱託職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	16.0
	委託職員	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	3.0	10.0
	指定管理者職員	0.00	2.00	4.00	9.00	6.00	0.00	0.06	0.00	40.00		2.00	7.00	45.00	0.00	115.06
	計	2.00	2.00	4.00	9.00	6.00	5.00	0.06	33.00	40.00	0.00	2.00	7.00	45.00	3.00	158.06

④ コスト状況

観光施設全 15 施設の年間トータルコストは、5 億 4,410 万円です。

内訳をみると、施設にかかるコスト(修繕費、改修費、光熱水費等)が 1 億 2,697 万円(23%)、事業運営にかかるコスト(人件費等)は 1 億 6,698 万円と 31%を占めています。14 施設中 8 施設(九十九島水族館海きらら、宇久シーパークホテル及び山暖簾を除く)の指定管理委託料が 8,585 万円(16%)、減価償却相当額は 1 億 6,430 万円です。

九十九島水族館海きらら、宇久シーパークホテル及び山暖簾の指定管理者は、利用者の収入によって運営しており、市から指定管理委託料は支出していません。市からの支出は、施設の修繕費や改修費等となっています。また、九十九島水族館海きららは、指定管理者が徴収している利用料収入から経費を差し引いた額を協定納付金として市の収入としています。

図表 施設別行政コスト計算書(平成 22 年度) (円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		白浜 キャンプ場	御橋観音 ビジター センター	白岳自然公園 センター	長串山公園 ビジター センター	烏帽子岳高原 リゾート スポーツの里	交通公園 センター	ふるさと 物産館	九十九島 動植物園 森きらら
施設に かかる コスト	一般職員人件費								40,825,000
	嘱託職員人件費								27,994,897
	修繕費							126,000	14,406,489
	改修費						1,631,070		
	光熱水費								13,173,135
	委託費						119,700		
	使用料及び賃借料								22,770
施設にかかるコスト 計							1,750,770	126,000	96,422,291
事業 運営に かかる コスト	一般職員人件費								32,660,000
	嘱託職員人件費								
	再任用職員人件費								3,196,978
	臨時職員人件費								21,440,964
	委託費	4,807,947					12,568,000		55,082,706
	使用料及び賃借料								820,835
	車両・備品購入費								2,399,347
	負担金補助及び交付金								436,000
その他物件費						46,574	1,768	31,348,202	
事業運営にかかるコスト 計		4,807,947					12,614,574	1,768	147,385,032
指定管理委託料			600,000	5,800,000	14,798,000	51,000,000		1,325,000	
現金収支を伴うコスト 計		4,807,947	600,000	5,800,000	14,798,000	51,000,000	14,365,344	1,452,768	243,807,323
【収入の部】									
収入	分担金及び負担金(収入)			4,101,202		12,873,860			
	使用料収入	4,680,290		780,436	12,588,350		3,522,392		39,341,358
	諸収入			79,000					19,823,142
収入の合計		4,680,290		4,960,638	12,588,350	12,873,860	3,522,392		59,164,500
II. 現金収支を伴わないもの									
コスト	減価償却相当額	475,200	1,305,720	4,084,200	2,880,216	5,535,360	4,873,824	1,087,992	37,117,512
III. 総括									
コストの部合計(トータルコスト)		5,283,147	1,905,720	9,884,200	17,678,216	56,535,360	19,239,168	2,540,760	280,924,835
収支差額(ネットコスト)		602,857	1,905,720	4,923,562	5,089,866	43,661,500	15,716,776	2,540,760	221,760,335

図表 施設別行政コスト計算書（平成22年度）

（円）

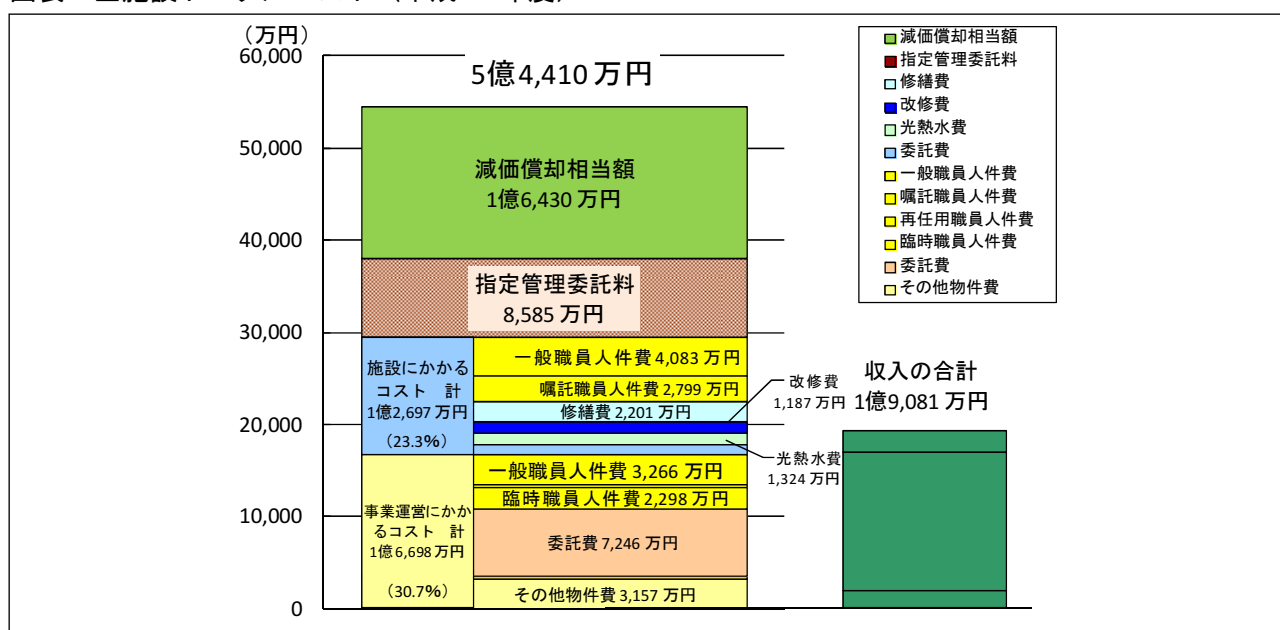
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		九十九島 水族館 海きらら	させぼ物産 みかわち振興 センター	三川内焼 伝統産業会館	宇久 シーパーク ホテル	山暖簾	観光情報 センター	合計
施設に かかる コスト	一般職員人件費							40,825,000
	嘱託職員人件費							27,994,897
	修繕費		3,696,000	3,135,720	641,214			22,005,423
	改修費				344,505	9,898,350		11,873,925
	光熱水費				65,331			13,238,466
	委託費		424,200	1,485,750			8,969,000	10,998,650
	使用料及び賃借料					7,100		29,870
施設にかかるコスト 計			4,120,200	4,621,470	1,051,050	9,905,450	8,969,000	126,966,231
事業 運営に かかる コスト	一般職員人件費							32,660,000
	嘱託職員人件費							
	再任用職員人件費							3,196,978
	臨時職員人件費						1,543,442	22,984,406
	委託費							72,458,653
	使用料及び賃借料							820,835
	車両・備品購入費				456,750			2,856,097
	負担金補助及び交付金							436,000
	その他物件費		6,416	40,606	66,200	60,200		31,569,966
事業運営にかかるコスト 計			6,416	40,606	522,950	60,200	1,543,442	166,982,935
指定管理委託料				12,327,000				85,850,000
現金収支を伴うコスト 計			4,126,616	16,989,076	1,574,000	9,965,650	10,512,442	379,799,166
【収入の部】								
収入	分担金及び負担金(収入)							16,975,062
	使用料収入	88,817,413	445,320	85,430		2,470		150,263,459
	諸収入	3,654,372		13,800				23,570,314
収入の合計		92,471,785	445,320	99,230		2,470		190,808,835
II. 現金収支を伴わないもの								
コスト	減価償却相当額	52,537,176	3,191,026	11,876,256	11,502,288	26,344,368	1,490,400	164,301,538
III. 総括								
コストの部合計(トータルコスト)		52,537,176	7,317,642	28,865,332	13,076,288	36,310,018	12,002,842	544,100,704
収支差額(ネットコスト)		-39,934,609	6,872,322	28,766,102	13,076,288	36,307,548	12,002,842	353,291,869

施設にかかるコスト 1 億 2,697 万円の内訳をみると、一般職員人件費及び嘱託職員人件費が 6,882 万円と施設にかかるコストの 54%を占めています。他には、建物の修繕費が 2,201 万円、改修費が 1,187 万円、光熱水費が 1,324 万円等となっています。

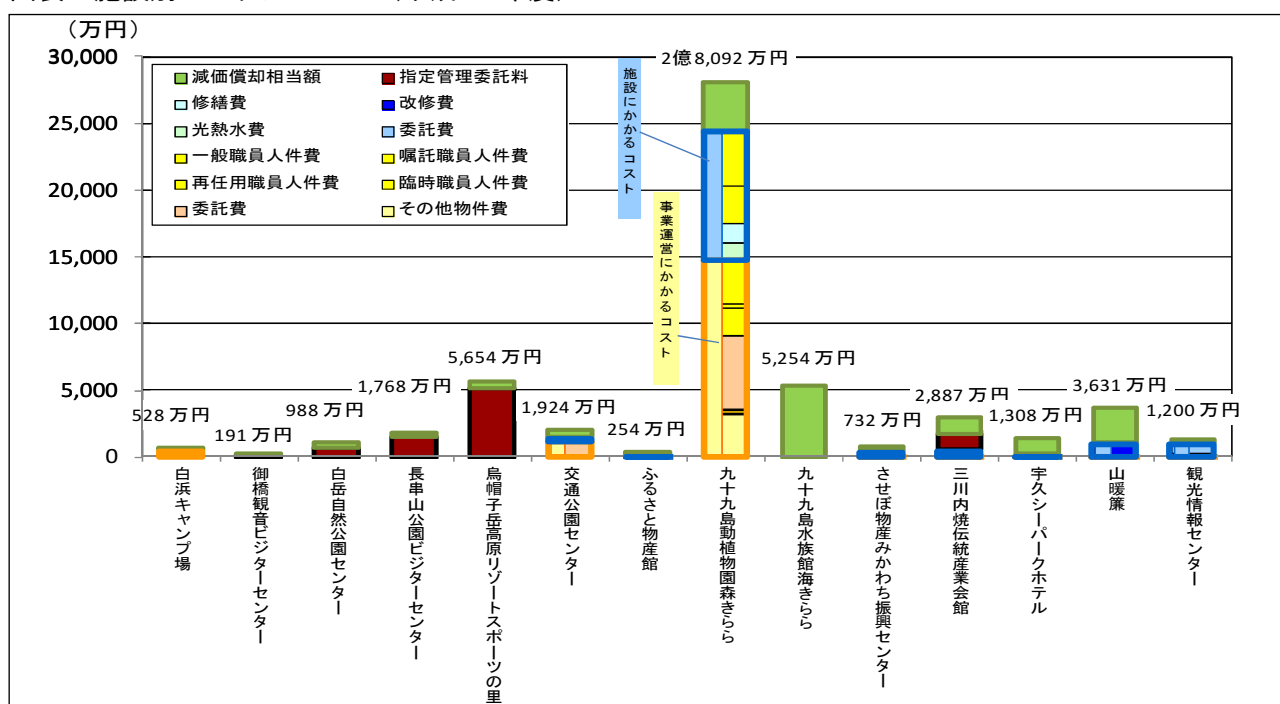
事業運営にかかるコスト 1 億 6,698 万円の内訳をみると、一般職員人件費が 3,266 万円、再任用職員人件費が 320 万円、臨時職員人件費が 2,298 万円等、人件費が 5,884 万円と事業運営にかかるコストの 35%を占めています。他には、業務の委託料が 7,246 万円等となっています。

施設別トータルコストをみると、九十九島動植物園森きららが 2 億 8,092 万円と、全施設トータルコストの 52%を占めています。他には、烏帽子岳高原リゾートスポーツの里が 5,654 万円と二番目に高く、御橋観音ビジターセンターが 191 万円と最も低くなっています。

図表 全施設トータルコスト（平成 22 年度）



図表 施設別トータルコスト（平成 22 年度）

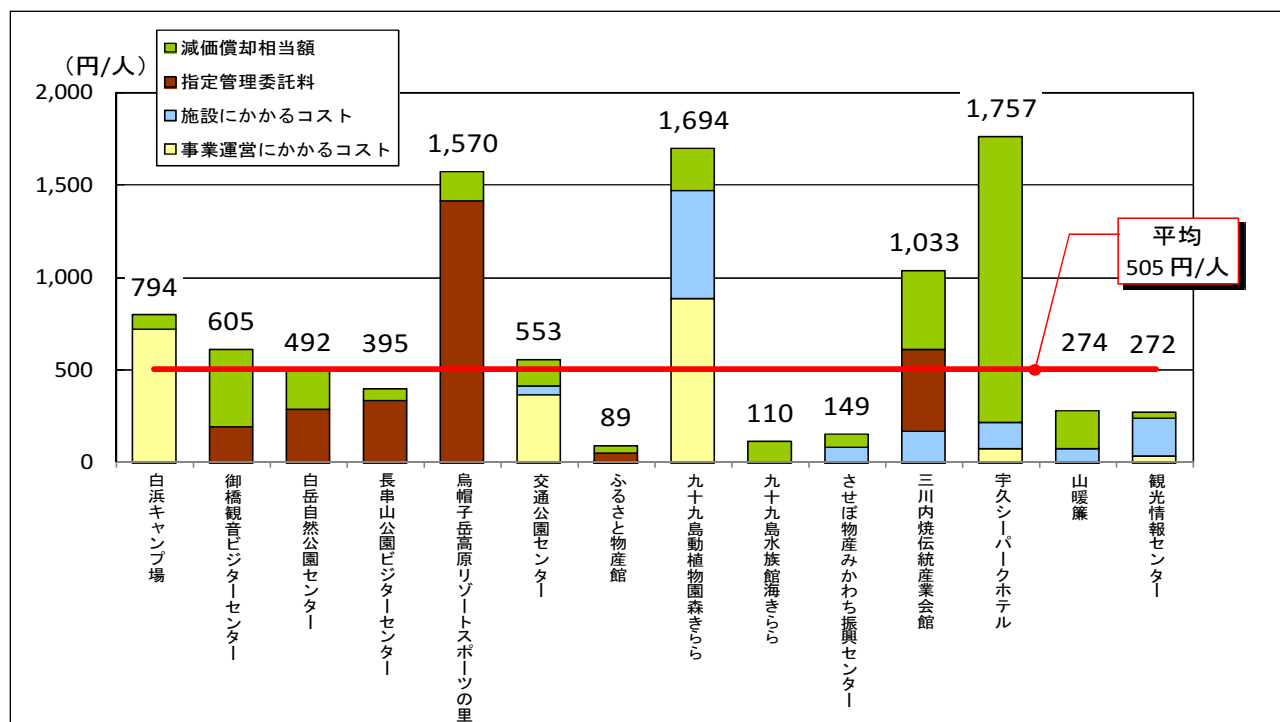


3) 評価・分析

■ 利用者数とトータルコストの関係（利用者1人当たりにかかるコスト）

利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は505円です。施設別では、宇久シーパークホテルが最も高く1,757円、ふるさと物産館が最も低く89円です。

図表 施設別 利用者1人当たりにかかるコスト



4) 今後の検討の視点

- 本市域内には、九十九島、烏帽子岳といった大自然や三川内焼等の伝統産業等、様々な観光資源を保有しており、本市でも多くの観光施設を保有しています。同時に、人口の減少や高齢化等に伴い、市の財政状況は今後、益々厳しくなると予測されます。その中で、観光施設においても、保有している施設の老朽化が進行しており、九十九島水族館等は既に改修を行っていますが、今後もさせぼ物産みかわち振興センターや九十九島動植物園森きらら等に対し、大規模改修等のコストが必要となっています。
- 観光施設の中には、利用者数が1日当たり10人程度の施設もあり、今後は、観光者ニーズに合った利用機能への見直しによる利用向上及び、保有形態等を含め、今後の施設のあり方を検討する必要があります。
- 今後、施設の建替え又は大規模改修を実施する際は、周辺の他の公共施設との複合化・集約化等を踏まえ、効率的な施設整備を検討する必要があります。また、既存施設に対しても、建物ライフサイクルコスト削減の観点から、計画的な修繕・改修が必要となります。